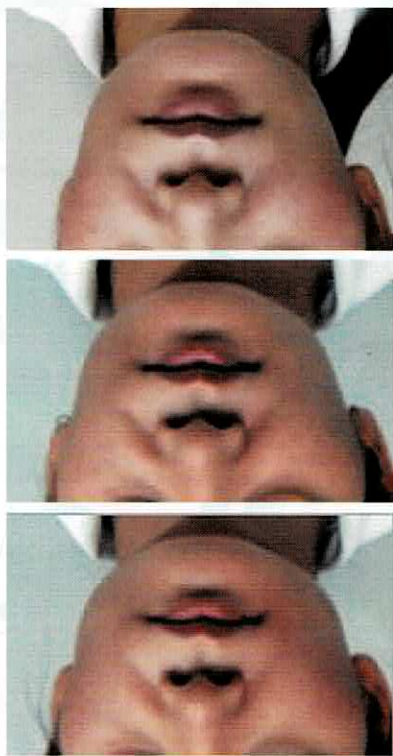


***症例写真**

歯ぎしり、食いしばりが強かった為、咬筋にボツリヌス毒素を注入。咬筋の緊張が取れ、症状が緩和、食いしばりによる肩こり、頭痛などもひどかったが、こちらも改善している。



術前

術後2か月

術後8か月

***ボツリヌス毒素注入とは Q & A**

【ボツリヌス毒素とは】

ボツリヌス菌から抽出されるたんぱく質の一種を過度に緊張している筋肉に注射することで、一時的に緊張をほぐす注射です。その結果、歯ぎしり、食いしばり、頸関節症などの治療に使用されています。緊張した筋肉（エラ）が弛緩することで、食いしばりによる肩こりなどの緩和にもなります。また、ガミースマイルの矯正にも使用することが出来ます。

【ボツリヌス毒素の安全性】

ボツリヌス毒素注入療法は、日本では、1996年に眼瞼痙攣、2000年に片側顔面痙攣、2001年に慢性斜頸への効能が厚生労働省の承認を受けている治療です。美容業界では、しわ取りの治療、小顔治療として一般的に使用されている治療方法です。美容目的では70カ国以上で使用されています。

【適用範囲について】

咬筋・オトカゲ筋（うめほしジワ）・ガミースマイル・口角挙上 ※ 歯科医院では、美容目的の施術は行えません。

【治療時間について】

15分程度で終了します。（表面麻酔をする場合は、40分程度）

【効果の持続について】

3か月～6か月程度の効果があります。

【ダウンタイムについて】

特にありませんので、すぐに日常生活に戻ることができます。

【保険適用について】

保険適用外となります。

【副作用について】

治療後数日は重たい感覚が残る場合があります。

※ボツリヌス毒素は完全無毒化されているため、人体への影響はありません。

